

第2 出願書類と登録の実例

第2 出願書類と登録の実例

1 イネ

(1) 「品種の客観的記述 イネ (*Oryza sativa*) (様式C)」フォーマット

アメリカ合衆国農務省 農業販売促進局 科学技術課 植物品種保護室 (PVPO)		別添様式 C
品種の客観的記述 イネ (<i>Oryza sativa</i>)		
出願人の名前	仮名称、または系統名	品種名称
住所 (通りの名称と番地、または地方無料郵便配達 (R.F.D.) 番号、市、州、および郵便番号、国名)		担当官が使用する欄
		PVPO番号

すべての指示の内容を良く読むこと。

この品種の性質を説明する適切な番号を以下の欄に記入すること。これらの番号は、IBGR-IRRIイネ諮問委員会、およびアメリカ合衆国稲作諮問委員会が定めた記述子に対応するコード番号でもある。育成者は、可能な限り多くの性質を説明することで区別性をより明確に示すことになる。

1. 成熟度： 出穂までの日数 (発芽から出穂50%まで)

A. 南部： (場所： _____) _____ kg/ha (窒素の比率)

____ 日数

____ 日早い 比較品種： _____

____ 日 (同じ) 比較品種： _____

____ 日遅い 比較品種： _____

____ 成熟期 1 = とても早い (85日以下) 2 = 早い (86日～100日)
3 = 平均的 (101日～115日) 4 = 遅い (115日を超える)

B. カリフォルニア： (場所： _____) _____ kg/ha (窒素の比率)

____ 日数

____ 日早い 比較品種： _____

____ 日 (同じ) 比較品種： _____

____ 日遅い 比較品種： _____

____ 成熟期 1 = とても早い (90日以下) 2 = 早い (91日～97日)
3 = 平均的 (98日～104日) 4 = 遅い (104日を超える)

2. 茎 (稈)：

____ 度 (開花後の垂直位置からの度数)：

1 = 直立 (30°未満) 3 = 中 (約45°) 5 = 下垂 (約60°)

7 = さらに開いた状態 (60°を超えるが、茎 (稈) が地面に接することはない。)

9 = ほふく状態 (茎 (稈) またはその下部が地面の上にほふくしている。)

2. 茎 (稈) : (続き)

長さ

_____ . _ cm (地際部から、主幹の穂を伸ばした先端まで)

_____ . _ cm短い 比較品種 : _____

同じ長さ

比較品種 : _____

_____ . _ cm長い 比較品種 : _____

_____ 高さクラス : 1 = 低い (≤ 95 cm) 2 = 平均的 (96~114 cm) 3 = 高い (≥ 115 cm)

_____ 節間の色 : (開花後) : 1 = 緑色 2 = 淡い金色 3 = 紫色の線 4 = 紫色

_____ 強さ (耐倒伏性) : 1 = 強 (倒伏なし) 3 = やや強 (多くの植物は傾く)
5 = 中 (多くの植物は倒伏する) 7 = 弱 (多くの植物は倒伏)
9 = 極弱 (すべての植物が倒伏)**3. 止め葉 :** (成熟期)

_____ . _ cm (長さ)

_____ . _ mm (幅)

_____ 毛じ : 1 = 無毛 2 = 中 3 = 密

_____ 葉の傾斜 (出穂後) : 1 = 直立 3 = 中 5 = 水平 7 = 下垂

_____ 葉身の色 (出穂時) 1 = 淡緑色 2 = 緑色 3 = 濃緑色 4 = 紫色の先端
5 = 紫色の縁 6 = 紫色の斑点 7 = 紫色

_____ 根出葉の鞘の色 (出穂時) : 1 = 緑色 2 = 紫色の線 3 = 淡紫色 4 = 紫色

4. 葉舌 :

_____ . _ mm (長さ) (後期生長期における環状部分の基部から先端まで)

_____ 色 (生長段階後期) : 1 = 白色 2 = 紫色の線 3 = 紫色

_____ 形状 : 1 = 先端が鋭利、または尖っている 2 = 2つに裂けている 3 = 先端が断ち切られている

_____ 環状部分の色 (生長段階後期) : 1 = 淡緑色 2 = 緑色 3 = 紫色

_____ 葉耳の色 (生長段階後期) : 1 = 淡紫色 2 = 紫色

5. イネの穂 :

_____ . _ cm (長さ)

_____ タイプ : 1 = コンパクト 5 = 中 9 = オープン

_____ 二次的な分枝 : 1 = なし 2 = 疎 3 = 密 4 = 房状

_____ 出穂 (ほぼ成熟期) : 1 = 90%未満 2 = 90~99% 3 = 100%出穂

_____ 脱粒性 (成熟期) : 1 = 低 (≤ 5%) 5 = 中 (6~25%) 9 = 高 (25%を超える)

_____ 脱粒 : 1 = 難 2 = 中 3 = 容易

6. 粒 : (小穂)_____ 芒 (出穂の完了後) : 0 = なし 1 = 短く、部分的に芒化 5 = 短く、完全に芒化
7 = 長く、部分的に芒化 9 = 長く、完全に芒化_____ 先端の色 (ほぼ成熟期) : 1 = 白色 2 = 麦わら色 (淡黄色) 3 = 茶色 (黄褐色) 4 = 赤色
5 = 赤色の先端 6 = 紫色 7 = 紫色の先端_____ 先端の色 (出穂の完了後) : 1 = 白色 2 = 麦わら色 (淡黄色) 3 = 茶色 (黄褐色) 4 = 赤色
5 = 赤色の先端 6 = 紫色 7 = 紫色の先端

_____ 柱頭の色 : 1 = 白色 2 = 淡緑色 3 = 黄色 4 = 淡紫色 5 = 紫色

6. 穀粒：(小穂)

____ 外花穎と内花穎の色(成熟時)：

0 = 麦わら色(淡黄色) 1 = 麦わら色(淡黄色)上に金色および(または)金色のしわ 2 = 麦わら色(淡黄色)上の茶色の
 水玉模様(まだら模様) 3 = 麦わら色(淡黄色)に茶色のしわ 4 = 茶色(黄褐色) 5 = やや赤い色から明るい紫色
 6 = 麦わら色(淡黄色)に紫色の水玉模様 7 = 麦わら色(淡黄色)上に紫色のしわ 8 = 紫色
 9 = 黒色 10 = 白色

____ 外花穎と内花穎の軟毛：

1 = 無毛 2 = 外花穎の竜骨上の毛 3 = 上部の毛
 4 = 短毛 5 = 長毛(柔らかい毛)

____ 小穂の不稔性(成熟時)：

1 = 高い繁殖力(>90%) 3 = 平均的な繁殖力(75~90%) 5 = 部分的に繁殖力がない(50~74%)
 7 = かなり繁殖力がない(<50% to Trace) 9 = 完全に繁殖力がない(0%)

7. 穀粒：(種子)

____ 種皮(外えい)の色：

1 = 白色 2 = 薄茶 3 = 斑点のある茶 4 = 茶
 5 = 赤色 6 = 紫斑 7 = 紫

____ 内胚乳のタイプ：

1 = 非粘着質(非ろう様) 2 = 粘着質(ろう様) 3 = 不定

____ 内胚乳の透光性：

1 = 透明 5 = 中間の状態 9 = 半透明

____ 内胚乳の乳白性：

0 = なし 1 = 小(サンプルの10%未満)
 5 = 中程度(サンプルの10~20%) 9 = 大(サンプルの20%を超える)

____ 芳香(香り)：

0 = 芳香なし 1 = 若干の芳香あり 2 = 芳香あり

形状クラス(長さとの比)：

____ 水稻 1 = 短い(2.2:1以下) 2 = 中規模(2.3:1~3.3:1) 3 = 長い(3.4:1以上)

____ ブラウン 1 = 短い(2.0:1以下) 2 = 中規模(2.1:1~3.0:1) 3 = 長い(3.1:1以上)

____ 精米 1 = 短い(1.9:1以下) 2 = 中規模(2.0:1~2.9:1) 3 = 長い(3.0:1以上)

測定値：

粒の形状

長さ
(mm)幅
(mm)厚さ
(mm)長さとの比 1000粒
の比 (重さ(g))

水稻

ブラウン

精米

____ 精米の質(%、外皮)

____ 精米生産量(%、もみ米に対する白色の米粒(先端)の比率)

____ %, プロテイン

____ %, アミロース

アルカリ拡散値：

_____ 1.5% KOH液、または _____ 1.7% KOH液

____ ゲル化温度：

1 = 高い 5 = 中程度 7 = 低い

アミログラムペーストの粘度

____ 最大

____ 高温ペースト

____ 冷却ペースト

「ブレイクダウン」「セットバック」

8. 耐寒性：

____ 発芽と種子の生命力：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

____ 開花(小穂の繁殖力)：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

9. 低温発芽性：

____ 生命力：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

10. いもち病抵抗性： (*Magnaporthe oryzae*)。(参考文献において見つかった国際的な品種)

0 = 免疫あり 1 = 抵抗あり 3 = やや抵抗あり 5 = 平均的 7 = やや影響を受けやすい 9 = 影響を受けやすい

	IB		IC		ID		IE	IG	IH	その他：	
数値	1	5	45	49	54	1	17	1	13	1	1
抵抗性	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

11. 他の病害に対する抵抗性：

0 = 免疫あり 1 = 抵抗あり 3 = やや抵抗あり 5 = 平均的 7 = やや影響を受けやすい 9 = 影響を受けやすい

___ 褐色斑点病 (<i>Cerospora oryzae</i>)	___ 集合的な鞘の斑点 (<i>Rhizoctonia oryzae-sativae</i>)
___ イネ黒穂病 (<i>Entyloma oryzae</i>)	___ 早青立
___ 褐色葉斑点病 (<i>Helminthosporium oryzae</i>) horrida (= <i>Bipolaris oryzae</i>) barclayana (= <i>Drechslera oryzae</i>)	___ イネ墨黒穂病 (<i>Neovossia</i> (= <i>Tilletia</i>)
___ 葉焼け (<i>Gerlachia oryzae</i>)	___ 先端が白い線形動物 (<i>Aphelenchoides besseyi</i>)
___ イネ白葉病	___ イネ小球菌核病 (<i>Sclerotium oryzae</i>)
___ イネ葉しょう腐敗病 (<i>Sarocladium oryzae</i>)	
___ イネ苗立枯病 (<i>Pythium</i> sp.)	___ 斑点細菌病 (<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>oryzae</i>)
___ イネ赤色菌核病 (<i>Rhizoctonia oryzae</i>)	___ 紋枯病 (<i>Rhizoctonia solani</i>)
___ その他：_____	

12. 害虫に対する抵抗性：

0 = 免疫あり 1 = 抵抗あり 3 = やや抵抗あり 5 = 平均的 7 = やや影響を受けやすい 9 = 影響を受けやすい

___ バッタ	___ イネカメムシ (<i>Oegalus pugnax</i>)
___ イネヨコバイ	___ Swarm caterpillar
___ イネトゲハムシ	___ イネミズゾウムシ (<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>)
___ イネコバエ	___ 稲穂害虫 (<i>Chilo plejadellus</i>)
___ イネツトムシ	___ サトウキビ害虫 (<i>Diatraea saccharalis</i>)

13. その他の記述： この品種について説明する他の性質が存在するのであれば、以下に記述すること。

参考文献

C. R. Adair等、1972年、「米国の稲：品種と生産」USDAハンドブック第289号（改訂）、124ページ

J. G. Atkins等、1967年、「*Pyricularia Oryzae*の系統を識別するための世界の稲品種」、Phytopath、57:297-301.IBPGR-IRRI稲諮問委員会、1980年、稲 (*Oryza Sativa* L.) に関する記述書、国際稲研究所、21ページK. C. LingおよびS. H. Ou、1969年、*Pyricularia Oryzae*の稲系統番号の国際標準化、Phytopath、59:339-342.

B. D. Webb等、1985年、米国の稲の有用形質と品質、コメの粒の品質とマーケティングに関する記録、国際稲研究所 (IRRI)、ロス・プラノス、フィリピン、P. 25～35

(2) イネ ”Koshihikari Kazusa 3 go” 品種保護証書

No. 200800228

アメリカ合衆国

本文書を受け取るすべての者へ：

本田技研工業株式会社

有性繁殖または塊茎繁殖植物の区別性のある品種として保護の証書を求める出願書であって、出願書および別添様式に署名し明細書が含まれ、副本が本文書に添付され、法律の要件に準拠した出願は、植物品種保護室（PVPO）に受理され、審査の上、当該出願人は法律に基づく植物品種保護証書を与えられ権利を有すると見なされる。

これにより、この植物品種保護証書は、当該出願人、およびその承継者、相続人、または譲受人に、この植物品種保護証書が与えられる日から 20 年にわたり与えられ、法律の規定に従って必要とされる料金の支払、および品種の生育可能な基本種子の定期的な充填、他者が品種を販売すること、それを販売するために提供すること、繁殖させること、輸入すること、輸出すること、繁殖のために状態を整えること、上記のいずれかの目的のためにそれを保管すること、交雑品種または異なる品種を作る際にこれを使用することから排除する権利が、植物品種保護法（84 STAT. 1542、7 U.S.C. 2321 ET SEQ を改正。）が規定する範囲内で適用される。



コメ

コシヒカリかずさ 3 号

2013 年 1 月 18 日に、ワシントン D.C.にて、署名をし、植物品種保護室（PVPO）の印章を押印した。

真実であることを証明する。

検査官

植物品種保護室（PVPO）

農業販売促進局

農務長官

(3) イネ “Koshihikari Kazusa 3 go” ST470 出願書記入例

地域で複写すること。すべての複写物に書式の番号と日付を記載すること。

承認済み書式・OMB No. 0581-0055

アメリカ合衆国農務省 農業販売促進局 科学技術課 ― 植物品種保護室 (PVPO) 植物品種保護証書の出願 (指示および情報収集の負担に関する文言を裏面に記す。)		以下の文言は、1974年のプライバシー保護法 (5 U.S.C. 552a)、および1995年の文書事務削減法 (PRA) に従って記載されている。 植物品種保護証書を発行するか否かを判断するために、出願が求められる (7 U.S.C. 2421)。保護証書が発行されるまで、情報の機密性は保持される (7 U.S.C. 2426)。	
1. 所有者の名前 本田技研工業株式会社		2. 仮名称、または系統名	3. 品種名称 コシヒカリかずさ3号
4. 住所 (通りの名称と番地、または地方無料郵便配達 (R.F.D.) 番号、市、州、および郵便番号、国名) 東京都港区南青山2-1-1		5. 電話 (市外局番を含める。)	担当官が使用する欄 PVPO番号 #20080022
		6. ファックス (市外局番を含める。)	
7. 所有者が「個人」ではない場合、組織の形態を示す (法人、組合、協会など)。 法人	8. 法人組織化されている場合、登記されている場所を示す。	9. 法人組織化した日	出願受理日 2008年5月1日
10. 本出願を行う所有者の代理人の名前と住所 (一番目に記載される者がすべての文書類を受領する。) Russell D. Orkin One Gateway Center 420 Ft. Duquesne Blvd., Suite 1200 Pittsburgh, PA 15222		料 金 受 領 済	出願と審査にかかる料金： \$ 4,382 日付：2008年5月1日 登録料： \$ 日付：
11. 電話 (市外局番を含める。) 412-471-8815	12. ファックス (市外局番を含める。) 412-471-4094	13. 電子メール webblaw@webblaw.com	
14. 作物の種類 (一般名) イネ	16. 科の名前 (植物学上) イネ科	18. この品種には、いずれかの導入遺伝子が含まれているか? (任意) ☐ はい ☒ いいえ この場合、商品化のための遺伝子組み換えの規制を撤廃するため、割り当てられた承認済み申立のUSDA-APHIS参照番号を示すこと。 _____	
15. 作物の属と種の名前 食用作物稲種	17. この品種は、第一代雑種か? ☐ はい ☒ いいえ		
19. 提出する各添付書類について、該当する項目のボックスにチェックマーク (✓) を付けること (指示に従う)。 a. ☒ 別添様式A. 出願品種の来歴及び育成経過 b. ☒ 別添様式B. 区別性についての記述 c. ☒ 別添様式C. 品種の客観的記述 d. ☒ 別添様式D. 品種についての追加の記述 (任意) e. ☒ 別添様式E. 所有者の所有権の根拠に関する記述 f. ☒ 別添様式F. 寄託に関する宣言 g. ☐ 証明書のサンプル (3,000の成長可能な未処理の種子、または塊茎繁殖の品種の場合、組織培養が承認済みの公共の保存場所に貯蔵および維持されることを裏付ける検証結果) h. ☒ 「アメリカ合衆国財務官」に宛てた出願の費用と審査の費用 (\$4,382) (植物品種保護室 (PVPO) への郵送)。		20. 所有者は、この品種の種子を証明種子のークラスとしてのみ販売するように指定しているか? (植物品種保護法の第83条(a)を参照すること) ☐ はい (「はい」の場合、以下の項目21および22に回答すること。) ☐ いいえ (「いいえ」の場合、項目23に進む。) 21. 所有者は、この品種の種子のクラスの数を制限するように指定しているか? ☐ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、どのクラスか? ☐ 基礎種子 ☐ 登録種子 ☐ 証明種子 22. 所有者は、この品種の種子の世代の数を制限するように指定しているか? ☐ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、各クラスについて番号1、2、3などを指定する。 ☐ 基礎種子 ☐ 登録種子 ☐ 証明種子 (追加説明が必要な場合は、次ページに指定する空欄を使用すること。)	
23. この品種 (収穫物を含む)、またはこの品種から作られた雑種はアメリカ合衆国またはその他の国々において販売されている、処分されている、譲渡されている、または使用されているか? ☐ はい ☒ いいえ 「はい」の場合、各国で最初に販売された日、処分された日、譲渡された日、使用された日、および状況を示すこと (次ページに示す欄に記入すること)。		24. この品種、もしくはこの品種のいずれかの構成要素が知的財産権で保護されているか? (植物育成者権や特許権) ☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、国名、出願日または発行日、および割り当てられた参照番号 (次ページに指定する空欄を使用すること)。	
25. 所有者は、品種の裏付けとして成長可能な基礎種子のサンプルを出願日から3ヶ月以内に受入可能な保管場所に直接提出することを宣言する。種子は、適用される規制に従って、要求に応じて補給される。塊茎繁殖品種や栄養繁殖の親品種の場合、証明書料要求書の日付から長くて3ヶ月間にわたり、組織培養物または繁殖サンプルが公共の保存場所に保管される。これらは、証明書が有効である間にわたって維持される。 以下に署名する所有者は、この有性繁殖、もしくは塊茎繁殖による植物品種の所有者であり、第42節で求められるように品種に新規性があり、特徴的で、均一性があり、安定的であり、植物品種保護法の第42節の規定に基づき保護される権利を有すると考えている。所有者には、本文書において虚偽の事実表明が行われた場合、保護性が損なわれ、罰則の適用に帰結する可能性があることが知らされている。			
所有者の署名 ヨシミ・ミキオ		所有者の署名	
名前 (活字体で明記するか、タイプする。) ヨシミ・ミキオ		名前 (活字体で明記するか、タイプする。)	
地位または肩書 代表取締役専務	日付 2008年4月18日	地位または肩書	日付

一般的な指示：植物品種保護室（PVPO）への出願を有効に行うには、（1）必要事項がすべて記入され、所有者による署名が示されている出願書、（2）必要事項がすべて記入されている別添様式 A、B、C、E、および F（3）塊茎繁殖品種については、成長可能な（植物全体を繁殖するという意味で）組織培養物が、認可された公共の保存場所に貯蔵および維持されることを裏付ける検証結果、（4）「アメリカ合衆国財務官」に宛てた金額\$4,382（出願の費用\$518、および審査の費用\$3,864）のクレジットカードによる支払、またはアメリカ合衆国のいずれかの銀行当て振り出し小切手による支払（*実行規定と規則の 97.6 節を参照*）のすべてが PVPO によって**受領されなければならない**。**新規：** 種子繁殖品種を出願する場合、または**出願直後の直接的な寄託により**、出願人は成長が可能な品種そのものの未処理の種子を 3,000 個以上、交雑品種の場合は品種を**繁殖させる**ために必要な各品目の未処理の種子を 3,000 個以上提供しなければならない。部分的出願は、PVPO において最長 90 日間保持された後、未出願として出願人に返却される。出願書およびその他の必要物は、アメリカ合衆国農務省（USDA）、農業販売促進局（AMS）、植物品種保護室（PVPO）（住所：Room 401, NAL Building, 10301 Baltimore Avenue, Beltsville, MD 20705-2351）まで郵送すること。**副本を 1 部、各自で保管すること。**以下に注記がない限り、出願書の表面にはすべての項目を明確に記すものとする。出願書および別添様式において訂正が行われたときは、その場所にイニシャルと日付を示さなければならない。訂正を行う際にマスキング材**を使用してはならない**。証明書が許可された場合、証明書の発行手数料としてクレジットカード、もしくは小切手にて「アメリカ合衆国財務官」宛てに\$768 の金額を支払うよう求められる。証明書は、被許諾者や代理人ではなく、所有者に対して発行される。

注記：出願人および所有者は、出願書や証明書の有効期間において住所、所有者、譲渡内容、あるいは所有者の代理人に変更が生じたときは、これを PVPO に伝達しなければならない。住所、所有者の代理人、所有者、代理人の変更、または所有者の名前の変更を届け出る際の手数料は、規定の 97.175 に指定している（*法律の第 101 節、および実行規定と規則の 97.130、97.131、97.175(h)を参照*）。

植物品種保護室
電話番号：(301) 504-5518 **ファックス：**(301) 504-5291
メールアドレス（一般）：PVPOmail@usda.gov
ウェブサイト：<http://www.ams.usda.gov/science/pvpo/PVPindex.htm>

具体的な指示：

すでに使用されている品種名との対立を回避するため、出願人は、保護証書が発行される前に、適切な認証当局に確認し、出願品種の不変的な名称が適切な認証当局によって承認されていることを裏付ける**エビデンス（証拠）を提出しなければならない**。たとえば、農作物および野菜作物の場合、アメリカ合衆国農務省（USDA）、農業販売促進局（AMS）、家畜および種子課、**種子管理検査所**（住所：801 Summit Crossing Place, Suite C, Gastonia, North Carolina 28054-2193、電話：(704) 810- 8870、ウェブサイト：<http://www.ams.usda.gov/lsg/seed.htm>）に問い合わせること。

項目

- 19a. 右記を提出する。
- (1) 使用される公共の、および商業的な品種、系統、またはクローン、および育成方法を含む系統に関する情報
 - (2) 選抜と増殖の以降の段階に関する詳細な情報
 - (3) 均一性と安定性を裏付けるエビデンス（証拠）
 - (4) 繁殖及び増殖の間における異型の種類および発生頻度、ならびにこれらの異型を特定する方法
- 19b. 品種の区別性について簡潔に説明する。同じ作物の中でこの出願品種を他のすべての品種から区別する方法について明確に記述する。新品種が、ある品種、もしくは関連する品種の群に極めて類似している場合：
- (1) それらの品種を特定し、すべての相違点を客観的に説明する。
 - (2) 数字を使用して表現した特性については、反復した統計データを添付し、それらが明確な相違点であることを証明する。さらに
 - (3) 必要であれば、区別性を明確に示す種子と植物の標本または写真（印刷物）、および植物の比較結果を提出する。
- 19c. 別添様式Cは、多くの作物についてPVPOから入手することが可能である。作物の種類を具体的に示すこと。別添様式C（品種の客観的記述）に可能な限り多くの情報を記入して、品種にすいて説明する。
- 19d. 任意の追加的な特性および（または）写真。別添様式Cでは正確に伝えることができない追加的な特性について説明する。必要に応じて対照品種を用い、植物の習性、植物の色、病気に対する抵抗性など、説明することが困難な特性をより正確に記述する。
- 19e. 法律の第52節(5)では、出願人が出願人の所有権に関する記述を提出することが求められている。別添様式Eは、PVPOから入手することが可能である。
20. 「はい」が指定された場合（この品種の種子は、認定されたクラスでのみ品種名で販売される）、この品種が販売され、そのようにラベル表示され、決定が公表され、あるいは証書が発行された場合、出願人はこの肯定的な**決定を覆してはならない**。しかし、「いいえ」が指定されたときは、出願人はこの選択を変更することができる（*実行に関する規定条件の 97.103 を参照*）。
23. 適格性の要件に関しては、*法律の第41節、第42節、および第43節、ならびに規定の97.5を参照すること。*
24. 早期の出願日がもたらす利点（優先権）を請求するための手続きについては、*法律第55節を参照すること。*

22. 表面から続く（証明することができる世代の限界と連続性に関して記述する。）

23. 表面から続く（品種（生産物を含む）、またはこの品種から作られた交雑品種が米国またはその他の国々で販売された、処分された、移送された、もしくは使用された場合、各国における初めての販売、処分、移送、または使用、および状況について記述する。）

24. 表面から続く（品種、または品種のいずれかの構成要素が知的財産権（植物の育成者の権利または特許権）によって保護されている場合、国名、出願日または発行日、および割り当てられた参照番号を示す。）
品種は、2007年5月2日に行われた日本の植物品種の権利の出願第21027号の主題となっており、出願に対する優先権が主張されている。

1995年の文書事務削減法に従い、有効な行政予算管理局（OMB）管理番号が示されていない限り、いかなる機関も情報収集を遂行することも支援することもできず、いかなる者も情報収集に充当することは求められない。当該の情報収集に関する有効な行政予算管理局（OMB）管理番号は、0581-0055である。当該の情報収集を完了するために求められる時間は、1回の対応で平均1.4時間と見積られ、この時間には指示の見直し、既存のデータ源の検索、必要なデータの収集と維持、および情報収集の完了と見直しにかかる時間が含まれている。

アメリカ合衆国農務省（USDA）は、人種、肌の色、出身国、年齢、障害、ならびに該当するときは性別、配偶者の有無、家族の状態、親の状態、宗教、性的指向、遺伝子情報、政治的な信念を理由に差別をすること、報復をすること、または個人の収入のすべて、または一部が社会保険プログラムを通して得られた収入によって形成されていることを理由に差別をすることを禁じている（すべてのプログラムにすべての理由が当てはまるわけではない）。プログラムの情報を得るために代替的な情報伝達的手段（たとえば、点字、大きな活字、録音音声など）を必要とする障害を持つ者は、USDA の TARGET センターに電話（(202)720-2600）（音声または TDD）にて問い合わせるものとする。

差別を受けたとの苦情を申し立てるときは、書簡を送付するか（住所：USDA, Director, Office of Civil Rights, 1400 Independence Avenue, S.W., Washington, D.C. 20250-9410）、電話にて伝える（電話番号：(800) 795-3272（音声）、または (202) 720-6382（TDD））ものとする。USDA は、均等の機会をもたらす供給者、ならびに雇用者である。

別添様式 A： コシヒカリかずさ 3 号
コシヒカリかずさ 3 号のイネの来歴及び育成経過

出願品種は、連続的な戻し交配とピラミディングの手法を使って育成されている。現在の品種は均一で、かつ安定しており、連続的な戻し交配によって育成されている。Japonica タイプの品種であるコシヒカリを雌親とし、Indica タイプの品種である翔（はばたき）を雄親として交配して雑種第一代が得られている。コシヒカリは、戻し交配において反復的に親となった。

地域における栽培適応能力が高いコシヒカリは、四国の南部から山形県を含む東北北部までと広く栽培されており、日本では 50 年以上にわたりコメの主要な栽培品種となっている。しかし、コシヒカリは温度、ならびに肥料の影響をとっても受けやすいため、植物は丈が高く、倒伏しやすくなる。このような性質により、収穫作業に多大な労力が求められるほか、食料としての品質や収穫高の低下がもたらされることになる。伝統的な育種方法を用いて、倒伏しにくい品種が数多く育成されているが、これらの品種はコシヒカリに代わる新しい品種となるには至っていない。理由として、このようにして育成された新しい品種がコシヒカリの持つ優れた遺伝子を維持することができなかったこと、そしてその結果、耐倒伏性が向上した新しい品種とはなり得なかったことが挙げられる。

伝統的な交配方法では、交配のための親のゲノムが相互に置き換えられて親のゲノムが混合された新しい品種（子孫）が生み出される。戻し交配という方法は、コシヒカリのゲノムを親として新しい品種に導入するために使われるが、DNA マーカーを使用することができない従来の技術では改良が十分には行われない。複数存在する外生の長い DNA 断片は、育成された新しい品種の多くにまだ残っていると思われ、それらの中ではコシヒカリが持つ倒伏抵抗性が向上していると思われる。

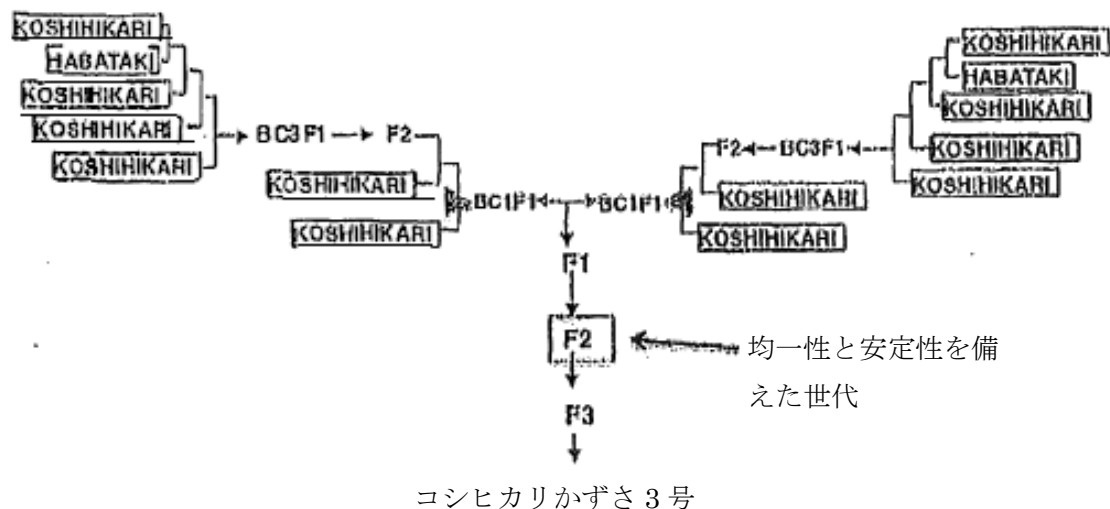
これに関連し、我々は以前に、翔（はばたき）が持つ半矮化遺伝子 *Sd1* と高産出遺伝子 *Gn1a* を第 1 染色体に含む 2 つの短い染色体断片を置き換えることで、コシヒカリの耐倒伏性と産出能力のみを向上させた新しい品種を育成していた。

その結果、耐倒伏性と高産出能力を持つさまざまなコシヒカリが育成された。

こうして出願品種は、ゲノム断片の交配置換により翔（はばたき）から抽出された半矮化遺伝子を導入することで短茎の品種を育成し、より高い耐倒伏性を持つに至ったのである。この品種は基本的に、短茎という特性を除き、コシヒカリと同じ性質を持っている。コシヒカリかずさ3号の主要な茎の長さは87.5cmであったが、コシヒカリのそれは110cmであった。

この出願品種が持つイネの穀粒数も、コシヒカリのそれよりも多い。コシヒカリかずさ3号の主要な穂の数は190であったのに対し、コシヒカリのそれは171であった。

育成の親子関係



育成を行った場所： 日本国千葉県木更津市かずさ鎌足 2-1-4

育成プロセス（育成期間など。育成プロセスの内容は、育成プロセスの日付を経時的に示すことで説明される。）

育成者は、2000年にコシヒカリと翔（はばたき）を交配してF1を得て、さらに2001年と2002年にはF1とコシヒカリを連続的に3世代にわたり戻し交配した。得られたBC3F1の種子が蒔かれ、DNAマーカーを使用してBC3F1の苗木が選定された。

BC3F2で選定された個体は、DNAマーカーを使用して選定され、コシヒカリと2回戻し交配され、2004年にBC1F1の種子が誕生した。2004年に2種類のBC1F1が交配された。一方のBC1F1は翔（はばたき）の*Sd1*領域を持ち、もう一方は翔（はばたき）の*Gn1a*領域を持っている。その結果、翔（はばたき）の*Sd1*と*Gn1a*の領域を持つF1の固体が得られた。2005年に、翔（はばたき）の*Sd1*と*Gn1a*のホモ接合領域を持つF2の固体が選定された。2006年に、栽培は、F3個体群の均一性と安定性を確かめる目的で、特性の検査に用いられる従来の栽培方法を用い、通常の田において行われた

コシヒカリかずさ3号の異型は観察されなかった。

別添様式 B: コシヒカリかずさ 3 号
区別性についての記述

この品種は、コシヒカリかずさ 3 号という名称のイネで、コシヒカリと比較して茎が短く、穂あたりの穀粒数が多いという特性を持つ。

添付の、日本の植物品種の権利の出願第 21027 号に含まれている特性表の英語版には、この品種とコシヒカリ、およびもう一つのコメの品種であるニッポンバレとの類似点や相違点を生み出す具体的な寸法および特性が示されている。

品種名称： コシヒカリかずさ 3 号

特性表

植物の一般名：	(イネ)
提案される候補となる品種の名称：	(コシヒカリかずさ3号)
出願人の名前または名称：	(本田技研工業株式会社)、育成者 (Shaoyang Lin)
出願人の住所：	(東京都港区南青山 2-1-1)
育成場所：	(クリエイションコアかずさ、千葉県木更津市かずさ鎌足 2-1-4)
特性試験の場所：	(愛知県愛知郡東郷町諸輪 (大字) 畑尻 94、名古屋大学、大学院、生命農学研究科の附属フィールド (Shaoyang Lin) 対照品種の名称 (最も類似した品種) (コシヒカリ) (2006 年))
特性試験の実施人の名前：	
特性試験を実施した年：	

グループ1 (該当する項目を○で囲む。)

段階	性質	候補となる品種の特性（品種の例との比較）									備考	品種の例の特性（対照群）		コメのUPOV TG
		1	2	3	4	5	6	7	8	9		（コシヒカリ）	（ニッポンバレー）	
40	葉：アントシアニンの色	なし	○							あり	1	1	1	4
	葉：アントシアニンの色の分布	先端のみ	○	斑点状	均一						1	1	1	5
	葉：しょう葉のアントシアニンの着色	なし	○							あり	1	1	1	9
60	止め葉：葉身の姿勢（初期の観察）	直立				水平		反曲			3	3	3	15
90	止め葉：葉身の姿勢（後期の観察）	直立		半直立	○	水平		半極			4	4	4	16
55	出穂期（植物の50%が穂を持つ時期）	かなり早期	○	早期		中期		後期			2 8月8日	3 8月9日	4 8月17日	19
65	外花穎：頂部のアントシアニンの着色（初期の観察）	無又は微	○	弱		中		強		極強	1	1	1	23

70	非ほふく性の品種のみ: 茎:長さ(穂を除く) 茎:節のアントシアニンの色	極短 無○		短○		中		長		極長	3 87.5cm	6 110.0cm	4 86.8cm	26
72-90	穂:主軸の長さ			短○		中		長			3 14.8cm	4 17.0cm	4 16.4cm	30
70	植物ごとの穂の数			極少		中○		多			5 13.4	5 15.2	4 12	31
70-80	穂:芒の分布	先端のみ○		上半分のみ		全長にかけて					1	1	1	34
60-80	小穂:外花穎の軟毛	無または微		弱		中		強		極強	コシヒカリと同等			36
80-90	小穂:外花穎の先端の色(包穎の先端の色)	白○	黄	茶	赤	紫	黒				1	1	1	37
90	穂:主軸の曲線	直線		半直線		垂下○		半屈曲			5	5	5	39
	穂:枝の姿勢	直立	直立から半直立○	半直立	半直立から開	開					2	2	2	42
90	成熟期	極早生		早生	○	中		晩生		極晩	4 9月18日	5 9月18日	6 9月28日	44
	外花穎の色	黄白○	金	茶	赤淡紫	紫	黒				1	1	1	46
	外花穎の模様	無○	金色の溝	茶色の溝	紫色の斑点	紫色の溝					1	1	1	47

92	外花穎:頂部のアントシアニンの着色	無又は極弱○		弱		中		強	極強	1	1	1	50
	護穎:長さ		短		中		長			2.2mm	1.92mm	2.44mm	51
	護穎:色	黄白	赤	黄金	紫					1	1	1	52
	粒:完全に成熟した1000粒重		小		中○	大				5	24.58g	26.47kg	53
	粒:穎のフェノール反応の有無	無○	弱		中	強		有		1	1	1	56
	玄米:長さ		短		中○	長				5	5	5.26mm	58
	玄米:幅		狭		中○	広				5	5	2.88mm	59
	玄米:形状(側面)	円形	半紡錘形	長円形○	紡錘状	長紡錘形				2	2	2.02	60
	玄米:色	白	褐斑	淡褐○	暗褐	淡赤	赤	紫斑	紫	2	2	2	61
	玄米:芳香	無又は微○	強	弱						1	1	1	62

グループ プII	穂の着粒密度		極疎	疎	やや 低	中	やや 高	高 ○	極高		7 9.41 /cm (2006)	6 8.33 /cm (2006)	5 5.99 /cm	-
-------------	--------	--	----	---	---------	---	---------	--------	----	--	-------------------------	-------------------------	---------------	---

1995年の文書事務削減法に従い、有効な行政予算管理局（OMB）管理番号が示されていない限り、いかなる機関も情報収集を遂行することも支援することもできず、いかなる者も情報収集に対応することは求められない。当該の情報収集に関する有効な行政予算管理局（OMB）管理番号は、0581-0055である。当該の情報収集を完了するために求められる時間は、1回の対応で平均1.4時間と見積られ、この時間には指示の見直し、既存のデータ源の検索、必要なデータの収集と維持、および情報収集の完了と見直しにかかる時間が含まれている。

アメリカ合衆国農務省（USDA）は、人種、肌の色、出身国、年齢、障害、ならびに該当するときは性別、配偶者の有無、家族の状態、親の状態、宗教、性的指向、遺伝子情報、政治的な信念を理由に差別をすること、報復をすること、または個人の収入のすべて、または一部が社会保険プログラムを通して得られた収入によって形成されていることを理由に差別をすることを禁じている（すべてのプログラムにすべての理由が当てはまるわけではない）。プログラムの情報を得るために代替的な情報伝達的手段（たとえば、点字、大きな活字体、録音音声など）を必要とする障害を持つ者は、USDAのTARGETセンターに電話（(202)720-2600）（音声またはTDD）にて問い合わせるものとする。

差別を受けたとの苦情を申し立てるときは、書簡を送付するか（住所：USDA, Director, Office of Civil Rights, 1400 Independence Avenue, S.W., Washington, D.C. 20250-9410）、電話にて伝える（電話番号：(800) 795-3272（音声）、または（202）720-6382（TDD））ものとする。USDAは、均等の機会をもたらす供給者、ならびに雇用者である。

アメリカ合衆国農務省
農業販売促進局
科学技術課
植物品種保護室（PVPO）

別添様式 C

品種の明細書
イネ（*Oryza sativa*）

出願者の名前 本田技研工業株式会社	一時的な命名、または実験上の名前	品種の名称 コシヒカリかずさ3号
住所（通りの名称と番地、または地方無料郵便配達（R.F.D.）番号、市、州、および郵便番号、国名） 東京都港区南青山2-1-1	担当官が使用する欄	
	PVPO番号	

すべての指示の内容を良く読むこと。

この品種の性質を説明する適切な番号を以下の欄に記入すること。これらの番号は、IBGR-IRRIイネ諮問委員会、およびアメリカ合衆国稲作諮問委員会が定めた記述に対応するコード番号でもある。育成者は、可能な限り多くの性質を説明することで区別性をより明確に示すことになる。

1. 成熟度： 出穂までの日数（発芽から出穂50%まで）

A. 南部：（場所：愛知県愛知郡東郷町諸輪畑尻94） 80 kg/ha（窒素の比率）

29 日数

日早い 比較品種：

日（同じ） 比較品種：コシヒカリ

日遅い 比較品種：

3 成熟度クラス 1 = 極早（85日以下） 2 = 早（86日～100日）
3 = 中（101日～115日） 4 = 遅（115日を超える）

B. カリフォルニア：（場所：） kg/ha（窒素の比率）

日数

日早い 比較品種：

日（同じ） 比較品種：

日遅い 比較品種：

成熟度クラス 1 = 極早（90日以下） 2 = 早（91日～97日）
3 = 中（98日～104日） 4 = 遅（104日を超える）

2. 茎（稈）：

1 角度（開花後の垂直位置からの度数）：
1 = 直立（30°未満） 3 = 中（約45°） 5 = 開（約60°）
7 = さらに開いた状態（60°を超えるが、茎（稈）が地面に接することはない。）
9 = ほ伏（茎（稈）またはその下部が地面の上にほ伏している。）

2. 稈：（続き）

長さ

106.3 cm（土壌から、主幹上の伸びたイネの穂の房最上部までの長さ）24.3 cm短い 比較品種： コシヒカリ

同じ長さ

比較品種： _____

_____ . _____ cm長い 比較品種： _____

2 高さ階級値： 1 = 矮小1 2 = 低 3 = 中 4 = 高2 節間の色：（開花後）： 1 = 緑色 2 = 黄白 3 = 紫色のライン 4 = 紫1 強さ（耐倒伏性）： 1 = 強（倒伏なし） 3 = やや強（多くの植物が傾く）
5 = 中（多くの植物が倒伏） 7 = 弱（多くの植物が倒伏）
9 = 極弱（すべての植物が倒伏）

3. 止め葉：（出穂後）

_____ . _____ cm（長さ）

_____ . _____ mm（幅）

3 毛じ： 1 = 無 2 = 中 3 = 強3 葉の傾斜（出穂後）： 1 = 直立 3 = 中 5 = 水平 7 = 下垂2 葉身の色（出穂時） 1 = 淡緑 2 = 緑 3 = 濃緑 4 = 紫色の先端
5 = 紫色の縁 6 = 紫色の斑点 7 = 紫1 葉鞘の色： 1 = 緑 2 = 紫色のライン 3 = 淡紫 4 = 紫

4. 葉舌：

_____ . _____ mm（長さ）（後期生長期における環状部分の基部から先端まで）

1 色（生長段階後期）： 1 = 白 2 = 紫色のライン 3 = 紫2 形： 1 = 鋭尖 2 = 2つに裂けている 3 = 先端が断ち切られている1 環状部分の色（生長段階後期）： 1 = 淡緑 2 = 緑 3 = 紫1 葉耳の色（生長段階後期）： 1 = 淡紫 2 = 紫

5. 穂：

18.8 cm（長さ）5 タイプ： 1 = コンパクト 5 = 平均的 9 = オープン3 二次的な分枝： 1 = なし 2 = 軽い 3 = 重い 4 = 房3 出穂（ほぼ成熟時）： 1 = 90%未満 2 = 90～99% 3 = 100%出穂2 軸： 1 = 直線状 2 = 垂れ下がっている1 脱粒性： 1 = とても低い（1%未満） 3 = 低（1～5%） 6 = 中（6～25%）
7 = やや高い（26～50%） 9 = 高（50%を超える）

_____ 脱粒： 1 = 難しい 2 = 平均的 3 = 容易である

6. 穎：（小穂）

1 芒（出穂の完了後）： 0 = なし 1 = 短く、部分的に芒化 5 = 短く、完全に芒化
7 = 長く、部分的に芒化 9 = 長く、完全に芒化2 尖端の色（ほぼ成熟時）： 1 = 白色 2 = 麦わら色（淡黄色） 3 = 茶色（黄褐色） 4 = 赤色
5 = 赤色の尖端 6 = 紫色 7 = 紫色の尖端1 柱頭の色： 1 = 白 2 = 淡緑 3 = 黄 4 = 淡紫 5 = 紫

6. 粒：(小穂)

0 外花穎と内花穎の色(成熟時)：

0 = 黄白
2 = 黄白に褐点
5 = 赤淡紫
8 = 紫

1 = 黄白に金又は金線
3 = 黄白に褐線
6 = 黄色に紫点
9 = 黒

4 = 黄褐
7 = 黄白に紫線
10 = 白

3 外花穎と内花穎の軟毛：

1 = 無毛 2 = 外花穎の竜骨上に毛 3 = 上部に毛
4 = 短毛 5 = 長毛(柔らかい毛)

1 小穂の不稔性(成熟時)：

1 = 高い稔性(>90%) 3 = 稔性(75~90%) 5 = 一部不稔(50~74%)
7 = 高不稔(<50% to Trace) 9 = 完全不稔(0%)

7. 粳：(種子)

1 種皮(ぬか)の色：

1 = 白 2 = 淡褐 3 = 斑点のある褐 4 = 褐
5 = 赤 6 = 紫系 7 = 紫

1 胚乳のタイプ：

1 = うるち 2 = もち 3 = 中間

1 胚乳の透光性：

1 = 透明 5 = 中間 9 = 不透明

1 胚乳の乳白性：

0 = 無 1 = 小(サンプルの10%未満)
5 = 中(サンプルの10~20%) 9 = 高(サンプルの20%以上)

0 芳香(香り)：

0 = 無 1 = 微 2 = 有

形(長さとの比)：

粳 1 = 短(2.2:1以下) 2 = 中(2.3:1~3.3:1) 3 = 長(3.4:1以上)

1 玄米 1 = 短(2.0:1以下) 2 = 中(2.1:1~3.0:1) 3 = 長(3.1:1以上)

精米 1 = 短(1.9:1以下) 2 = 中(2.0:1~2.9:1) 3 = 長(3.0:1以上)

測定値：

穀粒の形状

長さ
(mm)幅
(mm)厚さ
(mm)長さとの比 1000粒
(重さ(g))

粳

24.58

玄米

4.97

2.92

2.11

1.70

精米

精米部止まり(ぬか%)

精米部止まり(%、もみ米に対する白色の米粒の比率)

_____%、プロテイン

18_%、アミロース

アルカリ崩壊性：

____1.5% KOH液、または____1.7% KOH液

____ゲル化温度：

1 = 高 5 = 中 7 = 低

アミログラムペーストの粘度

最大_____

高温ペースト

冷却ペースト

「ブレイクダウン」「セットバック」

8. 耐寒性：

____低温発芽性：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

____開花(小穂の稔性)：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

9. 低温に関連しない種子の発芽性：

____発芽性：

1 = 低 2 = 中 3 = 高

10. いもち病抵抗性： (*Magnaporthe oryzae*)。(参考文献において見つかった国際的な品種)

0 = 免疫あり		1 = 抵抗性		3 = やや抵抗性		5 = 中		7 = やや感受性		9 = 感受性				
		IB				IC		ID		IE		IG	IH	その他：
番号	1	5	45	49	54	1	17	1	13	1	1	1		
抵抗性	<u>3</u>	—	—	—	—	<u>3</u>	—	<u>3</u>	—	<u>5</u>	—	—		

11. 他の病害に対する抵抗性：

0 = 免疫あり	1 = 抵抗性	3 = やや抵抗性	5 = 中	7 = やや感受性	9 = 感受性
___ すじ葉枯病 (<i>Cerospora oryzae</i>)				___ 褐色萌核病 (<i>Rhizoctonia oryzae-sativae</i>)	
___ 黒しゅ病 (<i>Entyloma oryzae</i>)				___ 青立病	
<u>3</u> ___ ごま葉枯病 (<i>Helminthosporium oryzae</i>) (= <i>Bipolaris oryzae</i>) <i>barclayana</i>) (= <i>Drechslera oryzae</i>)				___ 墨黒穂病 (<i>Neovossia horrida</i>) (= <i>Tilletia</i>)	
___ 褐色葉枯病 (<i>Gerlachia oryzae</i>)				___ 心枯線虫病 (<i>Aphelenchoides besseyi</i>)	
___ イネ白葉病				<u>1</u> ___ 小球菌核病 (<i>Sclerotium oryzae</i>)	
___ 褐色米 (<i>Sarocladium oryzae</i>)					
___ イネ苗立枯病 (<i>Pythium</i> sp.)				<u>3</u> ___ イネ白葉枯病 (<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>oryzae</i>)	
___ イネ赤色菌核病 (<i>Rhizoctonia oryzae</i>)				<u>3</u> ___ 紋枯病 (<i>Rhizoctonia solani</i>)	
その他 :					

12. 害虫に対する抵抗性：

0 = 免疫あり	1 = 抵抗性	3 = やや抵抗性	5 = 中	7 = やや感受性	9 = 感受性
_____ バッタ				_____ イネカメムシ (<i>Oegalus pugnax</i>)	
_____ イネヨコバイ				_____ Swarm caterpillar	
_____ イネトゲハムシ				_____ イネミズゾウムシ (<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>)	
_____ イネコバエ				_____ 稲穂害虫 (<i>Chilo plejadellus</i>)	
_____ イネツトムシ				_____ サトウキビ窄孔虫 (<i>Diatraea saccharalis</i>)	

13. その他の記述： この品種について説明する他の形質があれば、以下に記述すること。

参考文献

C. R. Adair等、1972年、「米国の稲：品種と生産」USDAハンドブック第289号（改訂）、124ページ

J. G. Atkins等、1967年、「*Pyricularia Oryzae*の系統を差別化するための国際的な一連の稲の品種」、Phytopath、57:297-301.IBPGR-IRRI稲諮問委員会、1980年、稲 (*Oryza Sativa* L.) に関する記述、国際稲研究所、21ページK. C. LingおよびS. H. Ou、1969年、*Pyricularia Oryzae*の国際稲番号の標準化、Phytopath、59:339-342.

B. D. Webb等、1985年、米国の稲の使用特性と品質、コメの粒の品質とマーケティングに関する会議記録、国際稲研究所 (IRRI)、ロス・ブラノス、フィリピン、P. 25~35

植物品種の登録出願

2007 年 5 月 2 日

農林水産大臣 宛て：

私は本文書を持ち、日本国の種苗法第 5 条第 1 項の規定に従い、品種の登録を出願します。

1. 出願人 出願人の数： 合計 1 人 住所または居住場所：(郵便番号：107-0062) 東京都港区南青山 2-1-1 名前または名称： 本田技研工業株式会社 電話番号 _____ 国籍 日本 _____ 権利の共有 _____ 代表者の名前： 福井威夫 _____ (共同出願の場合のみ記す。)
2. 代理人 (代理人を使って出願する場合のみ) 住所： (郵便番号：100-0005) 東京都千代田区丸の内 3-2-3 富士ビル 3 階 協和特許法律事務所 名前または名称： (弁護士) 印 電話番号：(03)3211-2321 (弁護士) 印 (弁理士) 印
3. 文書の受取人 (出願国の住所など) カナの発音に基づく表記： Tokyo-to Chiyoda-ku Marunouchi Sanchome 2-ban 3-gou Fuji Birudingu 3 kai 住所または居住場所：(郵便番号：100-0006) 東京都千代田区丸の内 3-2-3 富士ビル 3 階 協和特許法律事務所 受取部署： 協和特許事務所、化学部門 電話番号：(03)3211-2321 ☐ 出願人の一人、☒ 代理人、☐ 事業所 (非住居など)

品種の登録の出願は、2007 年 5 月 2 日に受領されている。

日本国農林水産省、生産局、植物品種保護&種子部門、植物品種登録係

4. 植物の一般名 植物の一般名： コメ（米） 植物学上の名称： <i>Oryza Sativa</i> L.
5. 候補の品種について提案されている名称 候補の品種 コシヒカリかずさ 3 号 * 候補の品種のコラムに存在する記入欄では不十分なときは適宜、記入欄を増やすこと。
6. 候補の品種の育成者 (a) この候補の品種の育成者は、 ☐ 出願人（のすべて） ☒ 以下の人物（合計 4 人） 住所または居住場所： 名前： <u>Shaoyang Lin</u> (b) 候補の品種が、自身の職務の一環として従業員により育成される場合 ☐ 該当なし ☒ 雇用主などによる出願 ☐ 従業員などによる出願 雇用主の名称： _____ (c) 候補の品種が育成された国 _____ 住所： _____
7. 出願対象の品種が他国ですでに出願されている場合 ☒ 該当なし 国または政府機関の名称 / 出願日と出願番号 / 暫定的な名称 / 審査状況 / 登録日と登録番号 ☐ 審査 ☐ 登録 ☐ 却下
8. 優先権が請求される場合 ☒ 該当なし （国または政府機関の名称）
9. 販売または市場投入のために提案される候補の品種の種苗または製品の譲渡に関する履歴 (a) 日本国内 ☐ 他者への譲渡 → 最初の処分が行われた日： 年 月 日 ☒ 未譲渡 処分時の名称 _____ (b) 日本国外 ☐ 他者への譲渡 → 最初の処分が行われた場所と日付 （国名） 年 月 日 ☒ 未譲渡 処分時の名称 _____
注記： 網状のコラムは、日本国外で出願を行った者が記入するコラムである。

育成者 住所または居住場所： 名前： タカシ・トモノリ
育成者 3 住所または居住場所： 名前： ササキ・アツシ
育成者 4 住所または居住場所： 名前： ヒロセ・ヨシツグ
育成者 5 住所または居住場所： 名前： イトウ・カオリ
育成者 6 住所または居住場所 名前

候補の品種の栽培試験

- 提出される品目、および添付される文書の一覧

1. 出願フォーム → 正本 1 部、および副本 2 部（オンライン出願の場合は正本 1 部）

2. 説明シート（特性表を含む） → 正本1部、および副本2部

(オンライン出願の場合は正本 1 部)

3. 候補の品種の写真 → 画像の枚数：8枚 それぞれ写真3枚ずつ

(以下に該当するときは、□にチェックマーク (✓) を付けること。)

✓■ 4 候補の品種の種苗が、種子または接種材料であるとき

(a) 種子と接種の区別、および提出する数量

→ ☒ 種子：1,000 個 ☐ 菌株：試験管 5 本

(b) 種子を種苗管理センターへ送付する方法と目付

→ ☒ 発送 ☐ 持ち込み ☐ その他

2007年5月9日頃

✓■ 5 代理人による出願の場合 → 委任状：正本と副本それぞれ 1 部

✓■ 6 出願品種の育成者の承継者が出願する場合 → 出願人が承継者であることを証明する文書

譲渡証書： 正本と副本

それぞれ 1 部

(2007 年 1 月中旬までに、自己補正による補足予定。)

□ 7 出願人が外国人、または外国の法人であるとき → 以下に示すいずれかの文書

□ (1) 種苗法第 10 条本文に関連する。 → 出願人の住所または居住場所（法人の場合は登記された事務所）が日本に存在することを証明する文書：正本とその副本：それぞれ 1 部ずつ

□ (2) 種苗法第 10 条第 1 項および第 2 項に関連する。 → 出願人の国籍が、日本を除く 1991 年の UPOV 条約の締約国、もしくは UPOV の加盟国に存在すること、または住所または居住場所（法人の場合は登記された事務所）を当該の国に持つことを証明する文書（正本と翻訳文）： それぞれ 1 部ずつ

□ (3) 種苗法第 10 条第 3 項に関連する。 → 出願人が帰属する国が、育成品種の保護を自国民と同じ条件で日本国民に与えること、または日本政府が当該国の国民に育成者の権利およびその他の該当する権利を享受することを許すことを条件に該当する保護を日本国民に与えることを証明する文書、当該国が出願品種に関する育成品種の保護を与えることを証明する文書（正本と翻訳文）： それぞれ 1 部ずつ

□ 8 優先権主張の場合

最先出願の優先権が主張される場合、出願が行われたことを証明する文書の認証謄本（正本と翻訳文）： それぞれ 1 部ずつ

□ 9 試験データなど（存在する場合） → 1 部

注記： 網状のコラムは、日本国外で出願を行った者が記入するコラムである。

説明
1. 植物の一般名 植物の一般名： イネ 植物学上の名称： <i>Oryza Sativa</i> L.
2. 出願品種の栽培の方法及び場所 住所： 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-1-4 名前： 電話番号： ファックス番号： メールアドレス： 育成者： (候補の品種の出願人以外の人の場合)
3. 出願品種の名称 候補の品種 コシヒカリかずさ 3 号 4. 出願品種の育成の経過及び繁殖方法 (1) 育成材料 (交配のための親など) 母親： コシヒカリ 父親： ハバタキ (2) 育成場所： 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-1-4 (3) 育成方法 (育成期間など。それぞれの育成方法の内容は、育成プロセスの日付を経時的に指定して説明する。) 2000 年 8 月 コシヒカリをハバタキと交配する。 2002 年 8 月 コシヒカリと 3 回にわたる連続的な戻し交配 2003 年 8 月 DNA マーカーを使用して個体植物 BC3F2 を選抜 2004 年 8 月 1 世代の戻し交配、さらに BC2F2 を選抜された個体として交配 (4) 育成の終了日 2006 年 2 月 (5) 候補の品種を繁殖させる方法 ☒ 種子繁殖 ☐ 種子繁殖のうち、繁殖を行うごとに複数の品種を交配して種子が得られる繁殖 (F1 品種) ☐ 栄養繁殖 ☐ 栄養繁殖のうち、接種材料が種苗として使用される繁殖 ☐ その他 (繁殖方法を具体的に説明。) (6) 種子が種苗として使用されない品種の場合に特性が確認できる、植物体の維持と保存の条件 (場所と方法) 維持と保存の場所 維持と保存の方法

5. 特性は、添付された「特性表」に記載。

6. 類似品種、およびこれらの品種との違い

(1) 出願品種の出願において使用される類似品種の名前（類似した品種の写真は、可能な限り多く添付すること。）

① コシヒカリ

① 日本晴

(2) 出願品種と類似した品種が持つ、区別が可能な形質と特性（類似したそれぞれの品種について説明すること。）

① 短茎、倒伏耐性

SD1 遺伝子が半矮化遺伝子 *sdl* と交換されたコシヒカリを育成した。

② 穂の着粒密度

穂の単位長さごとの着粒密度が、コシヒカリの穂ごとの種子の数と比較して多い。育成のため、ハバタキから抽出した高収量遺伝子を出願品種に導入した。

7. 出願品種と類似品種の特性を観察し、測定するための栽培条件

(1) 栽培の場所

愛知県愛知郡東郷町諸輪（大字）畑尻 94、
名古屋大学、大学院、生命農学研究科の附属フィールド

(2) 栽培の期間、および年数/月数

2006 年 4 月から 2006 年 10 月

(3) 栽培方法

a. 露地、または施設での栽培

✓■ 露地 □ 施設

b. 栽培の形態

□ 直接播種 □ 鉢植え □ その他

c. 栽培の規模 0.06 a、2 反復

8. 出願品種の審査で参考となる追加情報

(1) 出願品種の主な使用方法

(2) 出願品種の適応可能なエリア、栽培の場所、栽培の方法、特別な条件

a. 適応可能なエリア

b. 日本における栽培の場所（現場での検査が可能な、出願人の管理下にある場所）

住所（郵便番号：470-0151）

愛知県愛知郡東郷町諸輪（大字）畑尻 94、
名古屋大学、大学院、生命農学研究科の附属フィールド

交通機関： 名鉄豊田線

（最寄り駅： 米野木駅）

c. 栽培のタイプ

■ 露地

□ 施設（施設のタイプ： _____ ）

播種、または植え付けに適した時期

播種： _____ 4月下旬 — 5月初旬 / 毎年

植え付け： _____ 5月初旬 — 6月初旬 / 毎年

接ぎ木： _____ 月 — 月間の時期 / 毎年

刈り取り： _____ 月 — 月間の時期 / 毎年

その他： _____ 月 — 月間の時期 / 毎年

開花の時期や収穫の時期など、出願品種が持つ特性を観察するために適した時期

開花の時期： _____ 7月下旬 — 8月上旬 / 毎年

収穫の時期： _____ 9月上旬 — 9月上旬 / 毎年

成熟の時期： _____ 月 — 月間の時期 / 毎年

その他： _____ 月 — 月間の時期 / 毎年

d. 出願品種の生育に関する情報

出願品種は、コシヒカリと同様にいもち病抵抗性を持たないため、必要な薬剤を適期に適用して病害に対処することが必要である。

9. 種苗に関する情報

(1) 1つ以上の形質の発現が、病害や害虫、薬剤（たとえば、成長抑制剤、農薬など）処理、組織培養、台木、生育段階にあるさまざまな木から採取した穂木、およびその他の要因により影響を受けることがある。

(2) 種苗の特性の発現に影響をもたらす処理は、農林水産大臣の要求がない限り行うべきではない。提出される種苗にこのような処置が行われ、その影響を受けている場合、以下の(a)から(d)までのうち該当する項目の□にチェックマーク（✓）を示し、理由を詳細に記述すること。

(a) 微生物（ウイルス、バクテリア、ファイトプラズマ） □

(b) 薬剤を使用した処理（成長抑制剤や農薬など） □

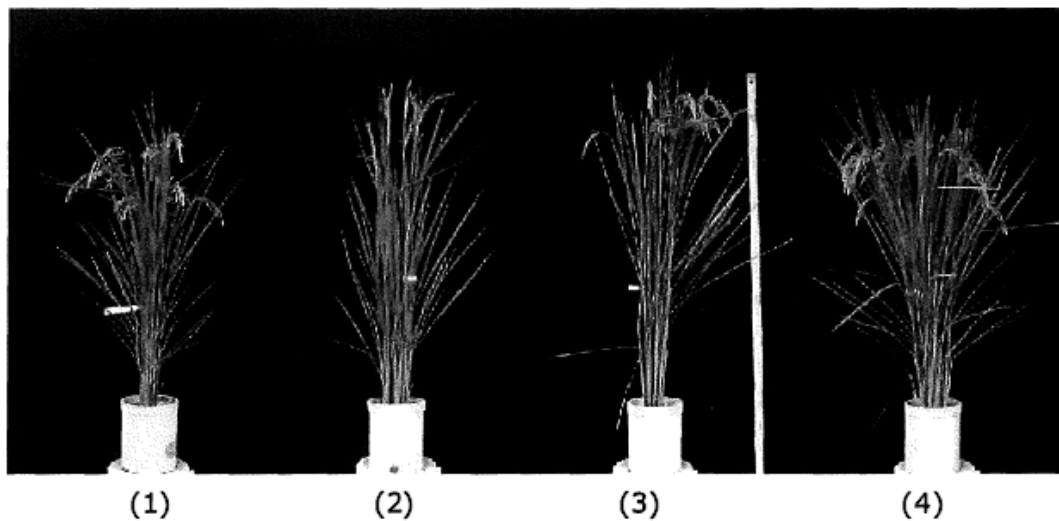
(c) 組織培養 □

(d) その他の要因 □

詳細な説明

特性表

植物の一般名：	(イネ)
出願品種の名称：	(コシヒカリかずさ 3 号)
出願人の名前または名称：	(本田技研工業株式会社)、育成者 (Shaoyang Lin)
出願人の住所：	(東京都港区南青山 2-1-1)
育成場所：	(クリエイションコアかずさ、千葉県木更津市かずさ鎌足 2-1-4)
特性調査の場所：	(愛知県愛知郡東郷町諸輪 (大字) 畑尻 94、 名古屋大学、大学院、生命農学研究科の附属フィールド (Shaoyang Lin) 対照品種の名前 (最も類似した品種) (コシヒカリ) (2006 年)
特性調査の実施人の名前：	
特性調査を実施した年：	



鉢上げ

- (1) アキヒカリ (比較)
- (2) 日本晴 (比較)
- (3) コシヒカリ (対照)
- (4) コシヒカリかずさ 3 号 (出願品種)

(撮影した日： 2006 年 8 月 25 日)

(撮影した場所： 日本国愛知県東郷町)

品種の名称： コシヒカリかずさ 3 号



コシヒカリかずさ 3 号
(出願品種)

出穂期

(撮影した日： 2006 年 8 月 24 日)
(撮影した場所： 日本国愛知県東郷町)

品種の名称： コシヒカリかずさ 3 号



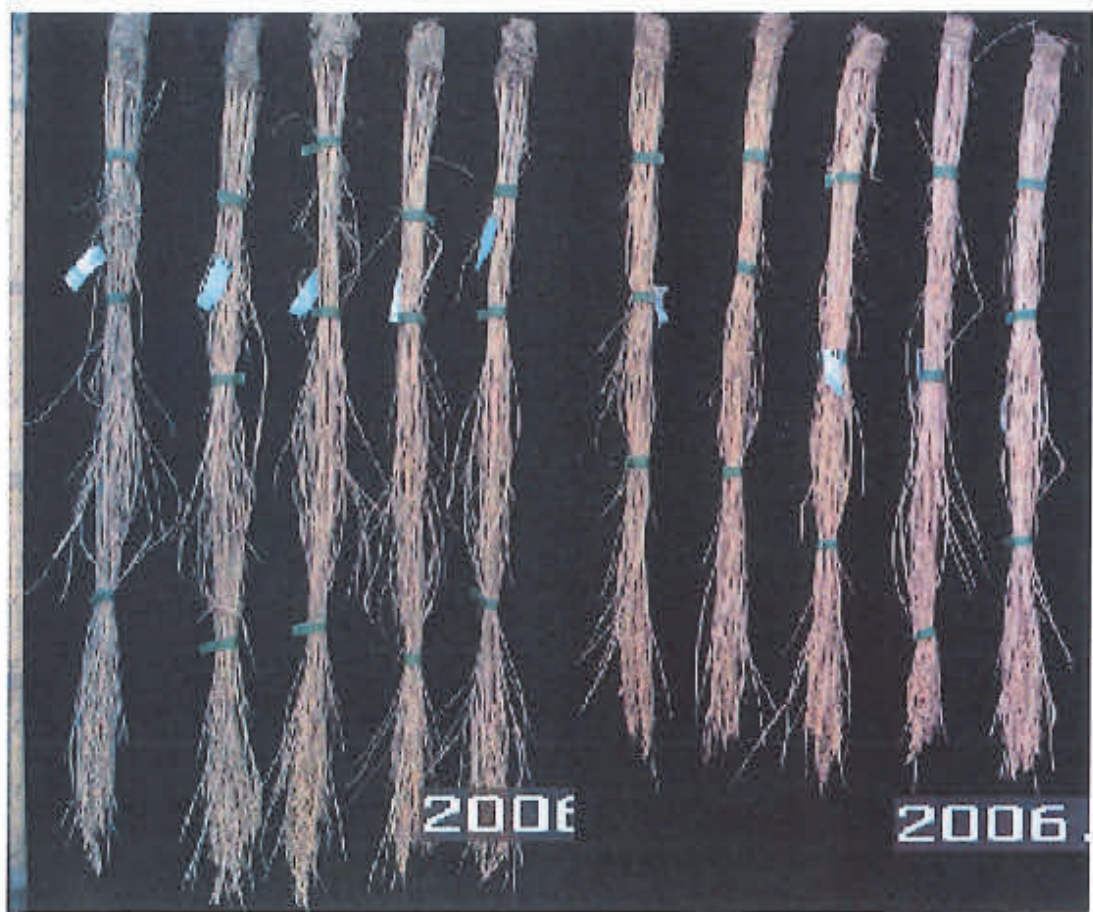
KZ3 : コシヒカリかずさ 3 号
(出願品種)

↑
コシヒカリ
(対照)

登熟期

(撮影した日 : 2006 年 9 月 7 日)
(撮影した場所 : 日本国愛知県東郷町)

品種の名称 : コシヒカリかずさ 3 号



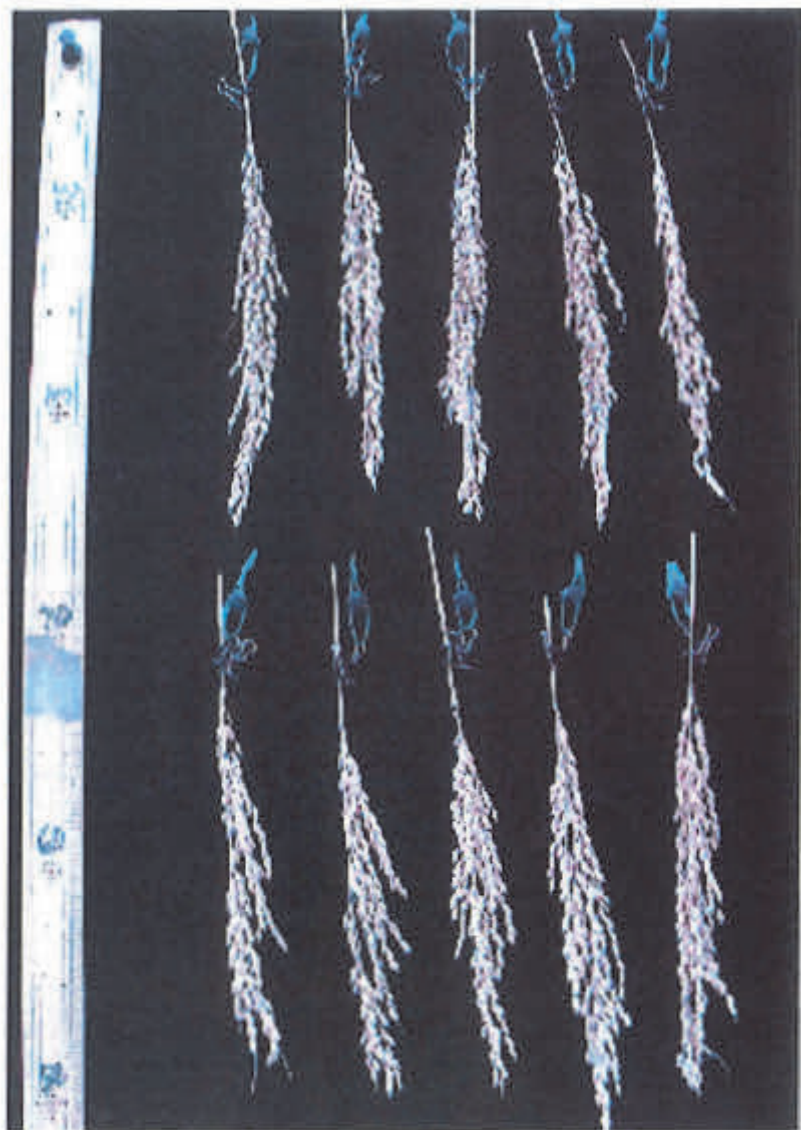
コシヒカリ
(対照)

コシヒカリかずさ3号
(出願品種)

乾燥稲

(撮影した日： 2006年11月28日)
(撮影した場所： 日本国愛知県東郷町)

品種の名称： コシヒカリかずさ3号



穂

上： コシヒカリ（対照）

下： コシヒカリかずさ 3 号（出願品種）

（撮影した日： 2006 年 11 月 29 日）

（撮影した場所： 日本国愛知県東郷町）

品種の名称： コシヒカリかずさ 3 号



穂

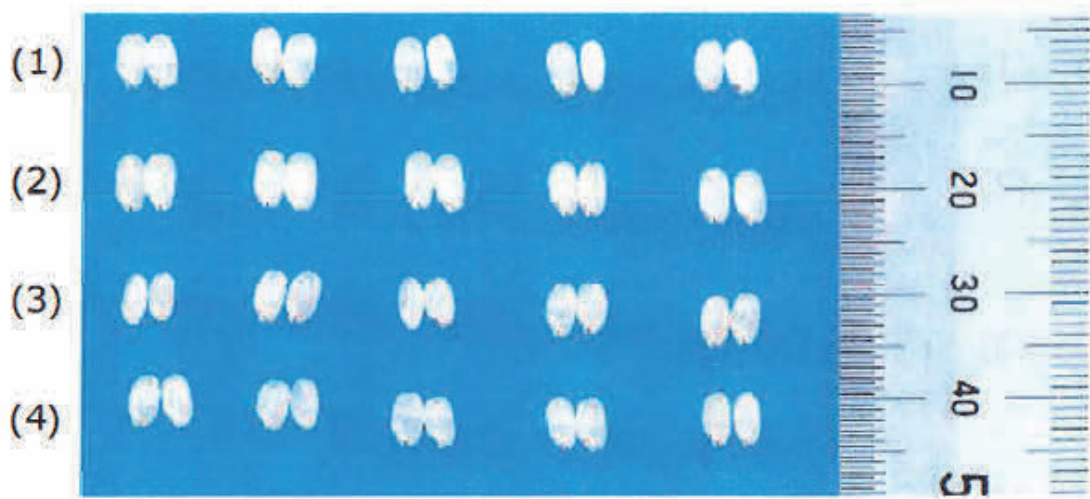
上： コシヒカリ（対照）

下： コシヒカリかずさ 3 号（出願品種）

（撮影した日： 2006 年 10 月 2 日）

（撮影した場所： 日本国愛知県東郷町）

品種の名称： コシヒカリかずさ 3 号



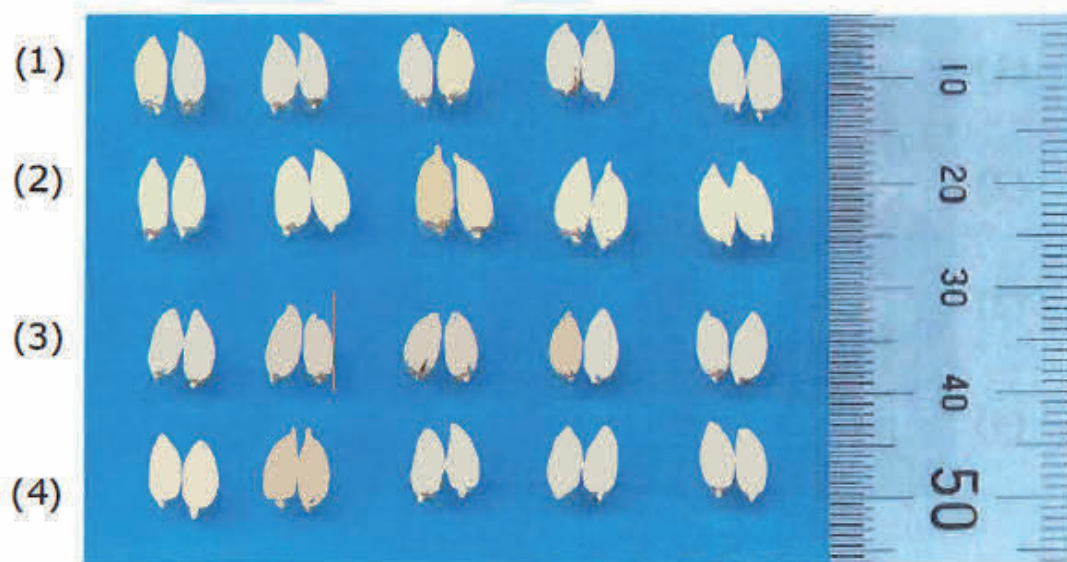
精米

- (1) アキヒカリ (標準品種)
- (2) 日本晴 (標準品種)
- (3) コシヒカリ (対照)
- (4) コシヒカリかずさ3号 (出願品種)

(撮影した日： 2007 年 1 月 30 日)

(撮影した場所： 日本国千葉県木更津市)

品種の名称： コシヒカリかずさ3号

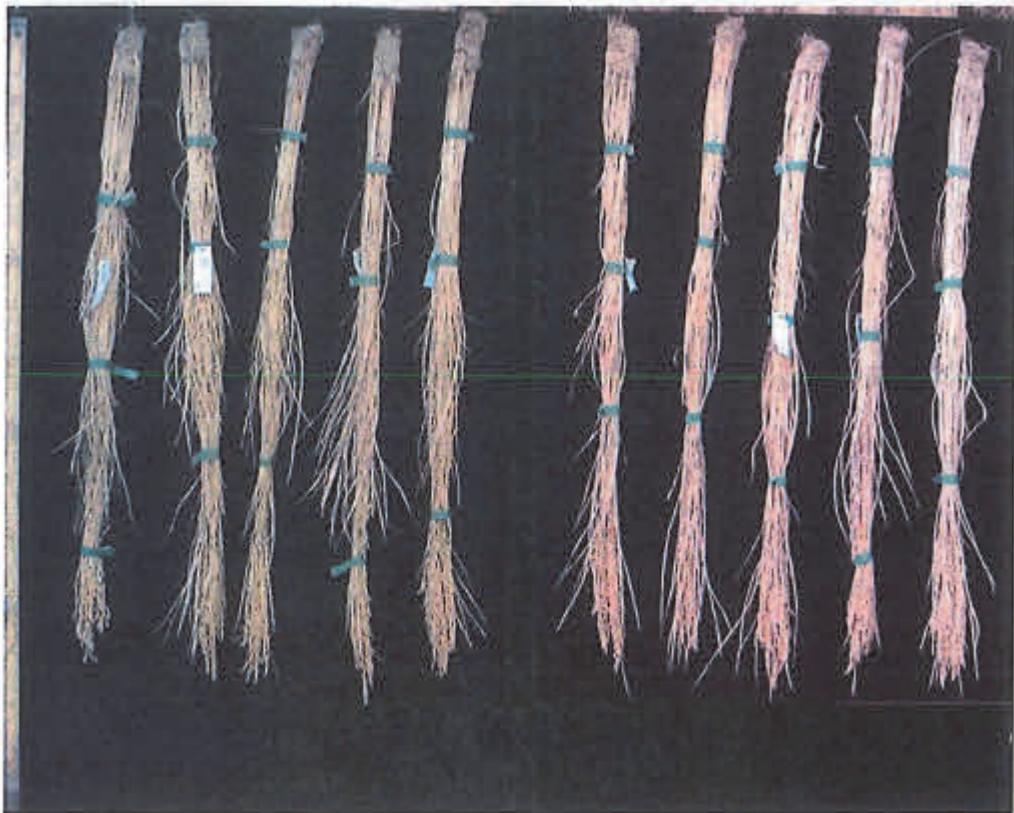


粳

- (1) アキヒカリ (標準)
- (2) 日本晴 (比較)
- (3) コシヒカリ (対照)
- (4) コシヒカリかずさ3号 (出願品種)

(撮影した日： 2007 年 1 月 30 日)
 (撮影した場所： 日本国千葉県木更津市)

品種の名前： コシヒカリかずさ3号



日本晴
(標準品種)

コシヒカリかずさ3号
(出願品種)

乾燥イネ

(撮影した日： 2006 年 11 月)

(撮影した場所： 日本国愛知県東郷町)

品種の名称： コシヒカリかずさ3号